

★ ①旧南方小学校



旧南方小学校・幼稚園の建物は全焼したが、当時周りにめぐらされていた「れんが塀」は焼け残った。

★ ②金刀比羅神社



建物は全焼したが、狛犬や燈ろう、手水鉢は、焼夷弾により焼けたり、欠けたりしながらも残っている。

★ ③本行寺山門



ケヤキで造られた山門は、焼夷弾の油脂によりその柱に大きな穴が開いてしまったものの、そのまま境内の正面に据えられている。

★ ④岡山神社・石灯籠



石関町界隈は焼け野原となり、岡山神社も猛火に包まれ、石灯籠が高熱で焼け崩れたり、一部を破損した燈籠もある。

⑤石山公園・平和の像



市民一人ひとりが広く平和の尊さに思いを寄せていただき、またその思いを末永く後世に伝えるために、平和都市宣言を記念して建立された。

★ ⑥岡山城天守台・榎



天守閣は焼失、天守台の石垣も焼けて赤く変色。2本の榎(えのき)は岡山城の焼け落ちる炎を浴びて、焼けこげた跡を残している。

⑦岡山城・月見櫓



岡山城本丸跡に現存する唯一の櫓で、城の裏口を守護する役割を担っていた。西手櫓とともに焼け残った貴重な建物である。

⑧岡山城・礎石



天守閣は昭和20年6月の戦災で焼失し、昭和41年に元の位置に岡山城が再建されたため、礎石のみをここに移し、元通りに配置している。

⑨岡山城西丸西手櫓



岡山城西の丸の正面の防備のために江戸最初期に建造された。月見櫓とともに空襲で焼け残った貴重な建物である。

★ ⑩岡山城石山門跡



天守閣と共に国宝に指定されていたが、空襲で焼失した。石垣に残る赤茶けた焼け跡が空襲の激しさを今に伝えている。

⑪西川・平和像



空襲当時の惨禍を回想して再び戦争の不幸を繰り返さないよう世界恒久の平和と郷土永遠の幸福を願う心の道標として建立された。

★ ⑫蓮昌寺・題目石



2000年に当時の蓮昌寺敷地内から、南無妙法蓮華經の題目が刻まれた題目石が出た。塔は4つに割れており、その内2つが掘り出された。

★ ⑬田町橋



田町橋周辺は特に大きな被害を受け、西川でも多数の人が亡くなった。田町橋はかろうじて焼け残り、欄干の傷跡が大惨事の記憶を今に伝えている。

★ ⑭蔭涼寺・水塔



焼夷弾爆撃で本堂は全焼した。境内の水塔には、高熱で焼けただれたあとを残し、火勢の強さを物語っている。

★ ⑮大雲寺



寺は全焼、本尊の阿弥陀如来像のほか、境内の多くの地蔵像や灯籠も被災し、焦げたり、折れたりしている。

⑯京橋



本土決戦に備え、軍用機などの不時着陸場にするために、軍用機の羽根が当たるとして、南側にある石造りの欄干橋頭部を取り壊された。

★ ⑰国清寺



本堂をはじめ多くの建物を焼失したが、山門、大愚堂、鐘楼などは焼失を免れた。長泉寺・瑞雲寺とともに死体収容所になった。

★ ⑱三友寺山門



1632年、播磨の国から岡山に移転した。本堂は焼けてしまったが、山門は残り、柱の一部と鯨の尾が被害を受けた。

★ ⑲大福寺・大地蔵



伽藍の大半が焼失したが、客殿、山門は被災を免れた。焼夷弾により炎上した本堂の炎で焼け焦げた痕跡のある大地蔵や欠けた石の手洗いが残っている。

★ ⑳浄教寺山門



寛文年間に播磨の国より移転し、1913年にこの地に移された。山門だけが焼失を免れ、山門に残る戦禍の焦げ跡が当時を今に伝えている。

★ ㉑玉井宮・鳥居



鳥居は破損し、その一部を残し空襲時の状況を刻んで立てられている。また狛犬と台座、本殿の屋根にも傷跡が残っている。